

※ 参考資料

1. 出展者募集案内資料

IPM Essen 2008 について

◆はじめに◆

EUの花き産業を知る上で、また、販路創出・拡大の機会を探るために、最も重要な展示・商談会の一つ「IPM Essen 2008」が2008年1月24日（木）から27日（日）までの4日間、ドイツ西部の都市、エッセンで開催されます。

この「IPM Essen 2008」では、農林水産省の委託事業（農林水産物等海外販路創出・拡大事業）により「日本パビリオン」が設置されます。EU市場では、元来の花き文化を背景に業務用、個人消費用共に安定した需要があり、また輸送技術の進歩によるアフリカなどの遠隔地からの切花の輸入は益々増加傾向にあります。本展示・商談会における「日本パビリオン」では、今後ますますの拡大が予想されるEU市場での販路の創出・拡大を狙う、または今後新規参入を予定している企業・団体を対象とし、日本産花きのプロモーションのための理想的なプラットフォームを提供いたします。この機会を是非ご活用ください。

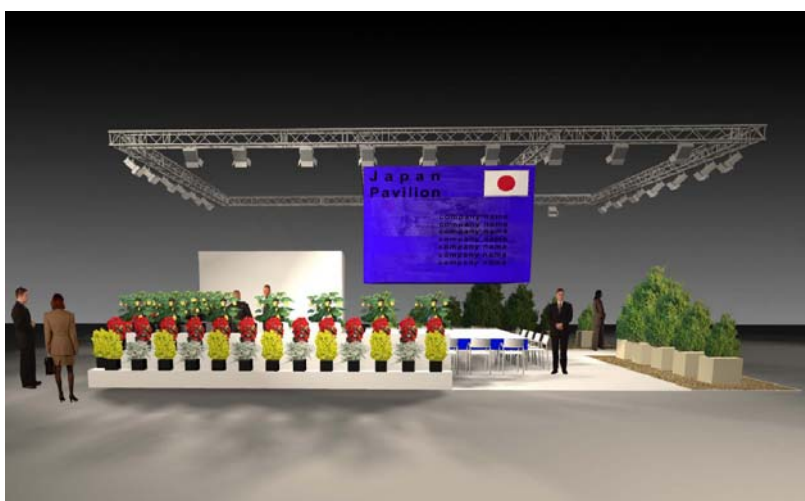
展示会開催概要

見本市名	IPM Essen 2008
会期	2008年1月24日（木）～27日（日）
会場	Essen Trade Fair Ground （エッセン・トレード・フェア・グラウンド）
主催	Messe Essen GmbH（メッセ・エッセン）
規模	43,575 m ² （総展示面積）2005
出展者数	42カ国 1407社（外国企業714社/比率50.7%） （2007年度）
来場者数	82カ国 57,800人（2007年度）
出展品目	花き、園芸用品、花き美術品・工芸品、 セールスプロモーション用品
ウェブサイト	http://www.ipm-messe.de

日本パビリオンの概要

【基本方針】

「日本パビリオン」は、日本産花きの高品質なイメージを再現出来るよう、ブースデザインに工夫を凝らします。従来の基礎小間方式ではなく、視覚的な品質アピールはもちろん出展者と来場者が快適な商談を行える共有スペースを設けるなど、ハイレベルな空間を演出します。



※このCGはイメージであり、実際のブースとは異なります。

【参加のメリット】

1. 出展料（スペース代、ブース施工代）が無料です。
2. コミュニケーションサポートが可能な補助員を、各出展者に1名無料で配備します。また、日本パビリオン内に通訳を数名配備しますので、商談の際にはご利用いただけます。（日本語 ⇄ 英語）
3. 近鉄エクスプレスが輸送関係を全面的にサポート。海外初出展でも安心してビジネスに専念できます。
4. 会期中、近鉄エクスプレスのスタッフが会場に常駐し、日本パビリオンの管理・運営、出展者のサポートをさせていただきます。

【運営事務局】

名称	㈱近鉄エクスプレス 開発部内「TJプロジェクト」
担当者	花澤・柳澤
TEL	03-5293-1980
FAX	03-3215-8004
E-Mail	tastejapan@jp.kwe.com
所在地	東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビルヂング 1階 〒100-0004

出展募集のご案内

【募集要項】

募集スペース	8社・団体程度、又は50品種程度 ※小間形式ではありません
対象出展物	日本で生産された花き（ドイツ及びその他 EU 諸国において輸入・販売できるものに限る）
出展資格	上記対象出展物の生産者、加工業者、輸出・輸入業者等
出展料	無料

【出展者の決定と展示スペースの割振り】

- 出展者及び出展物の選定は、本事業の趣旨等を踏まえ、運営事務局（近鉄エクスプレス）が以下の項目について採点を行った上で、農林水産省に協議して行います。なお、申込が予定数を上回らない場合であっても、出展物としてふさわしくないと考えられる場合には、出展をお断りすることがございますので、あらかじめご了承ください。

- 出展物について
（日本産花きの輸出拡大に寄与するか等）
- 出展者の意識について
（出展の目的を明確に有するか等）
- 生産体制について

(輸出に対応できる十分な生産能力を有するか等)

- 商談のフォロー体制について

(実務的なフォローをできる体制を有するか等)

- その他

- パビリオンにおける展示スペースの割振りは、出展品目の内容により運営事務局が決定いたします。必ずしも出展者のご希望に沿えないこともございますので、予めご了承ください。

【経費負担区分】

A. 運営事務局が負担する主な経費

- 会場借料
- パビリオン施工・設営・装飾
- 共用商談スペース、および什器（テーブル、椅子、冷蔵庫などを含む）
- 電話・FAX・インターネットなどの通信設備
- 日本パビリオン内に配備された通訳(3~4名)
- 来場者向け「日本パビリオン」パンフレット
- ドイツ及び周辺諸国での来場者誘致、日本パビリオンの宣伝活動

B. 出展者にご負担いただく経費

(※ 原則としてA. 以外の経費で主要なものは下記のとおりです。)

- 輸送経費・・・輸出梱包及び見本市会場までの輸送、また見本市終了後の輸送
- 輸入税、通関費用、輸送保険料などの物流費
- 出展者が独自に設置、レンタルする追加備品
- 出展者の社員、スタッフの渡航費、宿泊費
- アシスタント（コミュニケーションサポートが可能な補助員等）の雇用費（必要な場合のみ）
- 出展者の販促物、各自のPR資料製作費
- 出展者の都合により発生する個別経費、及び任意保険など

※ 詳しくは「海外見本市出品規定」をご参照下さい。

【アンケート等へのご協力】

出展者の皆様には、会期前後および会期中に近鉄エクスプレスが行うアンケートなどにご協力いただきます。現地ディストリビューターなどと共同で商談する場合も、出展者の実績として成果を記載願います。また、出展者の皆様には農林水産省が別途実施する農林水産物等海外販路創出・拡大事業のうちのフォローアップ調査（聞き取り調査、アンケート調査等）にご協力いただきます。当該調査の受託業者から調査依頼があった際にはご対応願います。

【申込方法】

- 本「出展募集のご案内」、「海外見本市出品規程」を必ずご確認ください。
- 申込書・承諾書（社印を捺印下さい）を事務局宛にFAX（03-3215-8004）にてお送りください。
- FAX を送付されてから翌々日までに、運営事務局担当者から電話連絡がない場合には、恐れ入りますが下記までお電話ください。
03-5293-1980 担当：花澤、柳澤

【申込締切日】

2008年9月19日（金） 必着

（ただし、申込が大幅に予定数を上回る場合は、締切前でも募集を締め切ることがあり得ますのであらかじめご了承ください。また、申込が予定数を上回らない場合であっても、出展物としてふさわしくないと考えられる場合には、出展をお断りすることがございます。）

【審査結果の通知方法】

9月30日（火）を目途に出展決定の通知を郵送致します。

【出展までのスケジュール（予定）】

募集締め切り： 9月19日（金）

説明会用資料の送付： 10月初旬

説明会： 10月17日（金） （予定）

【輸送に関して】

原則として航空便輸送。植木などの大型貨物は船便。

【渡航に関して】

出展者の皆様には、各自で手配していただきます。会期前日には日本パビリオンのオリエンテーションや出展物の搬入およびスタンドの装飾を行いますので、少なくとも会期2日前には現地に到着しているよう、航空チケットや滞在先ホテルの予約を入れてください。日本パビリオンとしての団体ツアーや、事務局スタッフが出展者の皆様の代りで渡航手配をすることはございません。（団体割引設定はなく、むしろ団体の場合割高になってしまいます。）ただし、海外渡航手配に不慣れな出展者様に関しましては、旅行代理店のご案内をさせていただきます。

【注意事項】

- 会期中、必ず出展者の社員が各自の展示スペースを担当し、商談・販促活動をしていただきます。
- 見本市会場で生じた盗難については、運営事務局は一切責任を負いません。
- 「出展募集のご案内」及び「海外見本市出品規程」に定めのない事項に関しては、運営事務局がその対応を決定いたします。
- 政府の方針等により内容が変更する可能性がある旨予めご了承下さい。
- 戦争、政情不安定、天災、伝染病など、不可抗力により会期を変更、または本展示会への出展を解除することがあります。
- 本規程にない事項及び補足事項は「海外見本市出品規程」に定めます。

【お問い合わせ・お申込先（運営事務局）】

名称	㈱近鉄エクスプレス 開発部内「TJプロジェクト」
担当者	花澤・柳澤
TEL	03-5293-1980
FAX	03-3215-8004
E-Mail	tastejapan@jp.kwe.com
所在地	東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビルディング 1階 〒100-0004

2. 出展者説明会資料

出展者マニュアル

1. 展示会概要

【展示会概要】

- 名称 IPM Essen 2008
日本パビリオン
Japan Pavilion
- 期間 2008年1月24日(木)～2008年1月27日(日)
9:00a.m.～6:00p.m.
- 会場 Essen trade fair gorund (エッセン・トレード・フェア・グラウンド)
- 主催 Messe Essen GmbH (メッセ・エッセン)
- 規模 43,575 m² (総展示面積)
- 出展者数 42カ国 1407社 (外国企業 714社/比率 50.7%) (2007年度)
- 来場者数 82カ国 57,800人 (2007年度)
- 出展品目 花き、園芸用品、花き美術品・工芸品、
セールスプロモーション用品、等
- ウェブサイト <http://www.ipm-messe.de>

【日本パビリオン概要】

- 主催 農林水産省
- 運営事務局 株式会社 近鉄エクスプレス

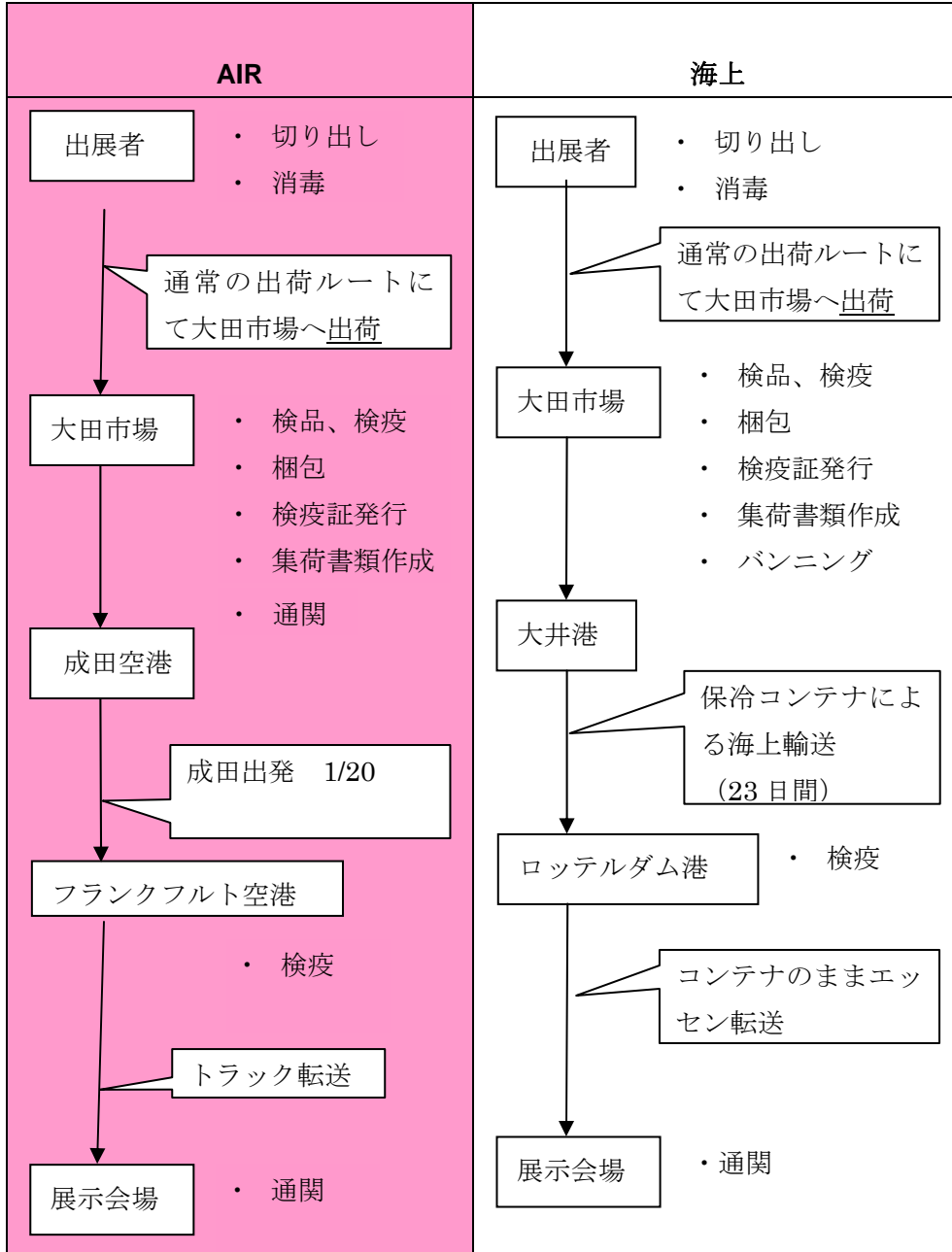
- 出展物 日本で生産された花き(ドイツ及びその他 EU 諸国において輸入・販売できるものに限る)
- 規模 100 m²
- 会場内ロケーション 2-108

2. 日本パビリオン 出展者リスト

No.	企業・団体	出展物
1	カネコ種苗株式会社	トルコ桔梗(エコーレピンク、エコーレブルー)
2	農業組合法人 高知新三里園芸組合	グロリオサ(ミサトレッド)
3	小林農園	チューリップ
4	株式会社小森谷ナーセリー	アマリリス
5	さがえ西村山花き振興会	日向水木、土佐水木、サンシュ、 ドウダン、マンサク、ライデン、ヤナギ モクレン、ムシカリ、マユミ、コブシ、 レンギョジョイアントイエロー
6	JA 愛知みなみ	グロリオサ
7	長谷川農場	雪柳
8	住化農業資材株式会社	トルコ桔梗(華雪 3 号、恋みちる、海 ほのか、さくら彩彩)、ブルードピンク
9	千葉県	キンメツゲ、カンツバキ、キャラボク、 ラカンマキ、イヌマキ、サザンカ
10	株式会社ミヨシ	トルコ桔梗(ボレロ、ボレログリーン、ボ レロブルーフラッシュ) デルフィニューム
11	有限会社山川農園	千両「館山紅」
12	山本デンドロビウム園	デンドロビウム

3. 基本ルート

出展に関わる花き及び資材については、下記輸送ルートを基本とします。



*切り花鮮度保持のため、二度に分けて
AIR輸送の予定

4. 梱包

IPM エッセン 2008 に出展する花材につき、日本から展示会場までその品質を劣化させることなく輸送するため、各出展者は下記の点をご留意の上、以下の要領で梱包を行って下さい。

【切花】

- 展示会に出展する花材は、出荷前に**必ず消毒をして下さい**。輸出の際、検疫時に病害虫が発見された場合は輸出ができなくなります。
- 輸送所要時間が通常の国内での取引の場合と比較して長くなりますので、花材の品質保持のため、必要な処置をお願いします。
- 水は使用せず、エコゼリーで対応してください。
- 通気性をよくするため、各カートンに通風穴を開けます(カートンの強度維持に注意)。
- 梱包に際しては、全ての花材をカートン(ダンボール箱)に梱包して下さい。また、カートンについては、輸出用のダブル・カートンなど、航空機による輸出に耐える十分な強度を持ったカートンをご使用願います。(木材は一切使用しないようにして下さい)
- 輸送する花材の性質・性状、所要時間、輸送条件(振動、衝撃、温度)等を考慮し、花材の品質を劣化させることなく展示会場に届けるための梱包をお願いします。
- 輸送に使用する輸送機具は、トラック、フォークリフト、航空機、空港内で使用する航空機用パレットの荷役・移動機器、その他です。貨物の輸送中、荷役中、航空機の離着陸時等に、若干の振動と衝撃がありますので、しっかりと固定するようにしてください。

梱包手順

- ① 花材は品種ごとに束ねてください。
※ 解きやすいようにバンドルして束ねてください。
- ② 結露花材によっては各花束を新聞紙で包むなど、結露防止処置を行ってください。(図 1)
- ③ 花束は頭を互い違いに収納していきます(収納効率を高めるため)。(図 2)
- ④ 箱の両端にはシュレッダーを通した裁断紙のような緩衝材を入れてください。(図 2)
- ⑤ 箱の中央部で花と箱を紐で縛り、固定してください。(図 1、2)
- ⑥ 花材収納後、カートンの蓋はガムテープでしっかりと閉じてください。

図 1—新聞紙による結露対策



【鉢物】

(1) 前処理

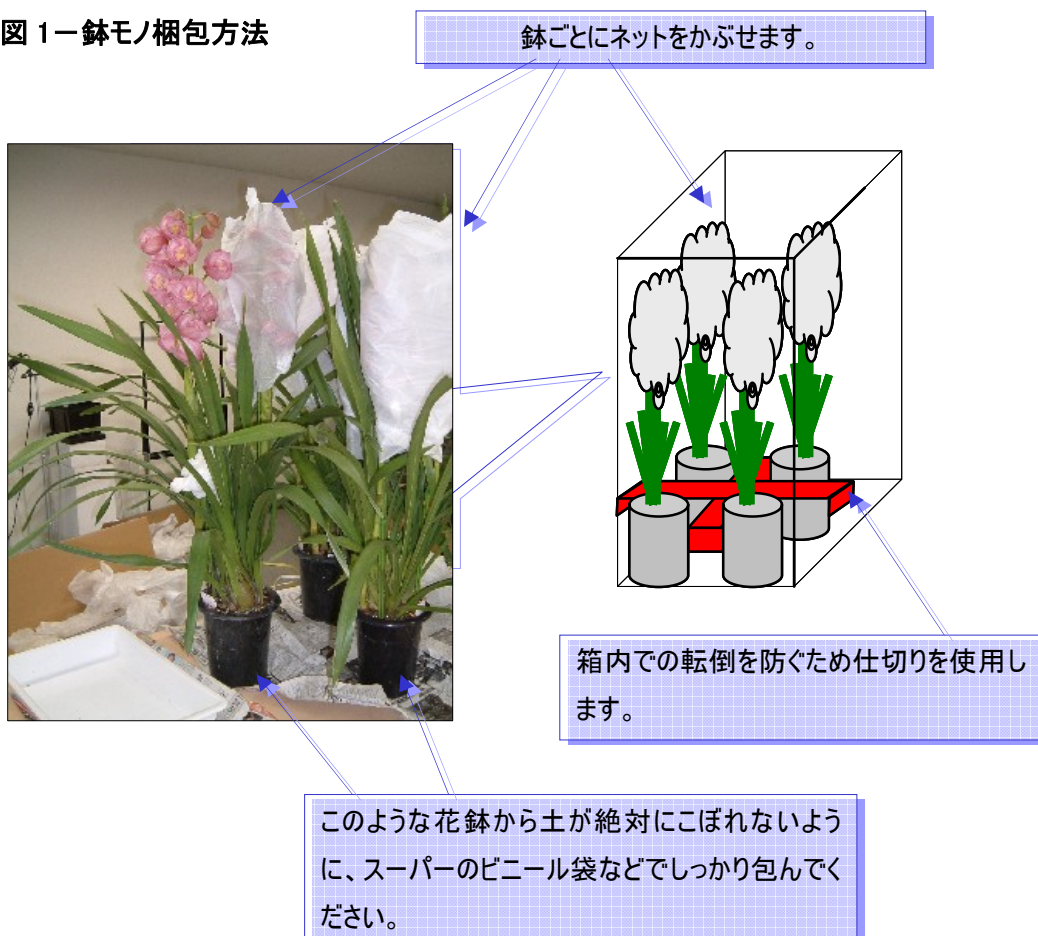
- カートン箱内での転倒などを防ぐための仕切りを用意してください。
- 盆栽等、カートンに梱包しただけでは安全性に不安が残る貨物については、出展者が梱包したカートンを輸送会社において更に木枠に梱包し、貨物の転倒等を防止します。早目にご相談下さい(木枠梱包する貨物については、フライト日の 12 日前までに、カートンの個数、カートンごとの重量、サイズをご連絡下さい)。

- ① 展示会に出展する花材は、出荷前に**必ず消毒をして下さい**。輸出の際、検疫時に病害虫が発見された場合は輸出ができなくなります。
- ② 通気性をよくするため、**各カートンに通風穴**を開けます(カートンの強度維持に注意)。
- ③ ランなどの場合は頭部へのダメージを防止するため、1 鉢ごとにネットをかぶせてください。

(図 1)

- ④ 土は**絶対にこぼれ落ちることのないよう**鉢をビニールで包むなどしてください。

図 1ー鉢モノ梱包方法



(2) 梱包

- 梱包に際しては、全ての花材をカートン(ダンボール箱)に梱包して下さい。また、カートンについては、輸出用のダブル・カートンなど、航空機による輸出に耐える十分な強度を持ったカートンをご使用願います。(木材は一切使用しないようにして下さい)
- 輸送する花材の性質・性状、所要時間、輸送条件(振動、衝撃、温度)等を考慮し、花材の品質を劣化させることなく展示会場に届けるための梱包をお願いします。
- 輸送に使用する輸送機具は、トラック、フォークリフト、航空機、空港内で使用する航空機用パレットの荷役・移動機器、その他です。貨物の輸送中、荷役中、航空機の離着陸時等に、若干の振動と衝撃がありますので、しっかりと固定するようにしてください。

梱包手順

- ① 梱包前処理で花にネットを被せた状態で箱へ収納していきます。
 - ② 箱内の仕切りなどを利用し、鉢が上下左右に動かないようしっかりと固定してください。
 - ③ 1カートンあたりの重量は **20KG** 程度までとします。
 - ④ 花材収納後、カートンの蓋は布製ガムテープでしっかりと閉じてください。
- ※ ラン等鉢物の場合には1箱あたり4鉢までとします。
- ※ ネットをかぶせた鉢の入ったカートンには必ず、ネットのスペアを同梱してください。

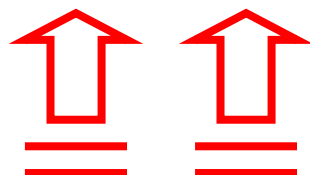
5. 外装表示

(1) 注意事項

カートンすべての外装に各注意事項を表示します。

- ① 「ケアマーク」を赤色にて必ず明記して下さい。

アップダウン



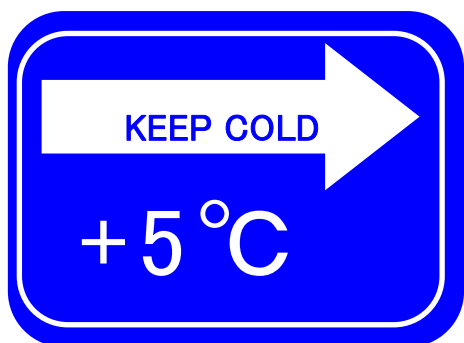
取扱注意



② 【Keep Cold +5℃】の温度表示シールを必ずしっかりと貼ってください。(注:切り花のみ)

温度表示シール:
切花の場合は5℃で設定します。

表示例: 温度表示は見やすい場所へ。



(2) ステッカー記入について

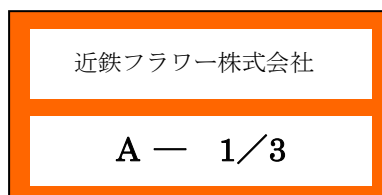
事前に全ての出展者に対し、梱包に必要なステッカー及びミニシールをお送り致します。
このステッカー及びミニシールは、各ケースを判別するために必要なものです。お間違いの無いよう必要事項(下記参照)を記入し、各カートンに貼り付けて(次ページ参照)、出荷して下さい。

■ ステッカー及びミニシール

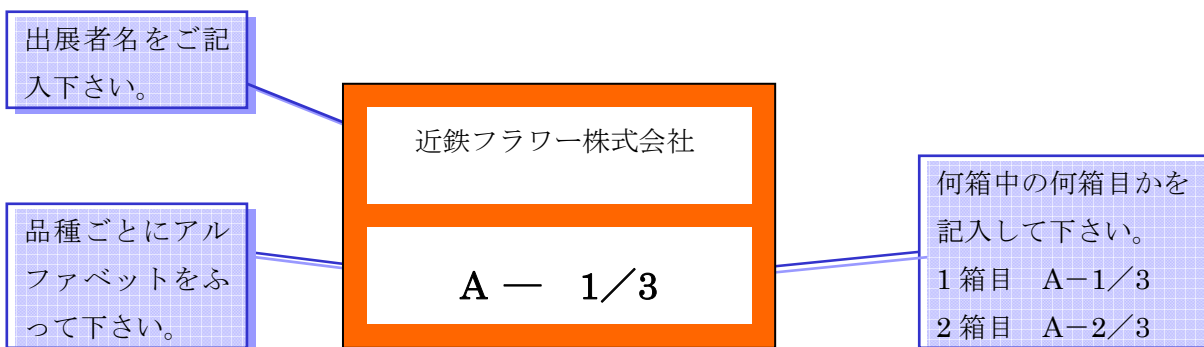
- ① ステッカー(展示会判別用)
大田市場、税関、検疫所、EU側が
判別するために必要なもの



- ② カートンNo.シール
事務局及び輸送会社が判別する
ために必要なもの



■ ミニシールの記入方法(個口用) *必ず油性のマジックで記入して下さい。



■ ステッカー及びミニシールの貼り方

ステッカー及びミニシールは、下図のように、わかりやすく貼って下さい。

